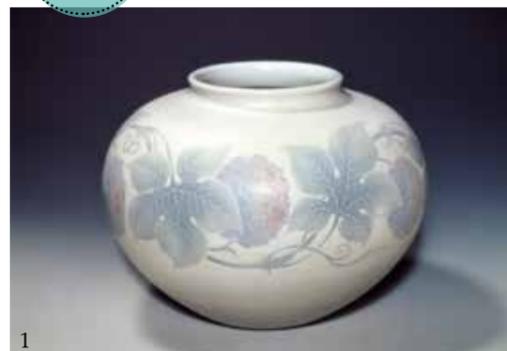


華ひらく近代工芸の美 板谷波山と香取秀真

10/22(土)~
11/27(日)

生誕
150
周年
板谷波山
ITAYA HAZAN



伊東富太郎
I TO TOMITARO



香取秀真
KATORI HOTSUMA



開窯
100
周年
加賀月華
KAGA GEKKA

陶芸家・板谷波山(1872-1963)と鑄金家・香取秀真(1874-1954)は、日本の近代工芸界をけん引した第一人者であり、昭和28年(1953)には工芸家として初の文化勲章を2人同時に受章しました。

本展では両者の珠玉の名品を展覧するとともに、波山に師事した桑名の陶工・加賀月華(1888-1937)や、秀真と親交のあった多度の郷土史家・伊東富太郎(1876-1958)などの桑名地域との関わりをご紹介します。

令和4年(2022)は板谷波山生誕150年、月華が作陶を始めてから100年という記念の年を迎えます。新たな表現技法に挑み続けた工芸家たちの熱意と、それによって生み出された端正で格調高い作品の数々をぜひご覧ください。

- 1. 板谷波山【茨城県指定有形文化財】《葆光彩磁葡萄紋様花瓶》茨城県陶芸美術館蔵
- 2. 香取秀真《鳳凰香炉》千葉県立美術館蔵
- 3. 香取秀真《印「木綿文庫」》個人蔵
- 4. 加賀月華《彩磁洋蘭花瓶》個人蔵
- 5. 加賀月華《紅顔釉花形鉢》桑名市博物館蔵
- 6. 《伊東富太郎宛香取秀真葉書》桑名市博物館蔵

場所 博物館 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

入館料 500円(中学生以下無料)、20人以上の団体は1人400円

メルマガ会員はクーポン画面またはそれをプリントアウトしたものを提示すると本人および同伴者合わせて2人まで1人400円

助成 公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人くわしん福祉文化協力基金、令和4年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

問 博物館 ☎ 21-3171 FAX 21-3173



次世代を担う 子どもたちを育むために

乳幼児×高校生

わくわくコミュニケーション

市と深谷保育所、多度保育所と桑名北高等学校の共同事業として、次世代の親を育み、豊かな心を身に付け、コミュニケーションの能力や自己肯定感を高めるために、乳幼児と高校生がペアになり1年間(年間20日程度)を通じて交流します。人としての心や人間関係を育む(学ぶ)機会となっており、次世代の子どもを育む取り組みとして注目されています。



子どもと触れ合うことで、自分の親も大変だったんだなと思いました。



仲良くなるためにはコミュニケーションが大切だと実感しました。

ふれあい案内

- 積み木などで一緒に遊ぶ ●絵本の読み聞かせ
- 近場の公園まで散歩 ●せせらぎで生き物観察 など

この事業を通して得られるもの

- 乳幼児 …受容される喜びや1対1でこそできるさまざまな体験 など
- 高校生 …親の体験ができる、コミュニケーション能力の向上 など

わくわく子育て体験

親子×中学生



子どもを育てるのは大変そうだけど、それと同じくらい喜びやうれしさもあるんだと思いました。



夜泣きなどもあって、一日一日がとっても大変だということが分かりました。

この事業を通して得られるもの

- パパ・ママ …子どもの将来を考えるきっかけを作ることができる など
- 中学生 …妊婦の大変さを実感できる、育児を体験できる など

毎年、夏休みに行われている事業で、中学生が生命の誕生について学習し、妊婦体験をしたり、実際に乳幼児との触れ合いや子育て中のパパ・ママによる育児についての話を聞いたりします。

この体験で命の尊さや親子の絆の大切さを感じることが出来ます。子育て中のパパ・ママからは、このような機会をどんどん作って欲しいとの声がありました。

問 子ども未来課 ☎ 24-1172 FAX 24-1393

市では子育てしやすいまちづくりをめざし、「桑名市子ども・子育て支援事業計画」を作成しています。次世代を担う子ども・若者への支援として、中学生と乳幼児との触れ合いを通じて、命の大切さや親子の絆・子育てすることの楽しさを実感できる体験を進めています。